

令和 6 年 4 月 1 日

関係施設長 各位

京都府立医科大学附属病院長

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE） 転院時スクリーニング検査 ご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

近年の近畿地区におけるバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）の増加を踏まえ、下記のとおり転院時スクリーニングを開始いたします。

関係施設におかれましては、患者さんに対し、当院転院時に下記検査を実施する予定がある旨の事前説明にご協力いただけますと幸いです。

ご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。

記

1. 検査開始時期：令和 6 年 5 月 1 日以降の転院症例
2. 検査費用：当院の負担となります。貴施設、患者さんの負担はありません。
3. 除外対象：病状から検体採取が困難な症例及び患者さんの同意が得られない症例、
3 日間以内の短期入院症例、産科の周産期症例（母体・産褥搬送）、小児科症例
4. 転院から結果判明までの感染対策：標準予防策（総室入院可能）を実施します。ただし、新規の下痢症状（病的と考えられるもの）を有する症例、事前に転院元の病棟内で 3 ヶ月以内に VRE 検出歴があることが判明している症例は接触予防策を実施します。
5. VRE 陽性判明時の対応：当院規程の接触感染予防策対応下での入院とさせていただきます。
6. その他
 - (1) 検体は転院当日、または翌日の糞便で実施します。排便困難な場合は病状により直腸拭いスワブでの採取となります。
 - (2) VRE が検出されたとしても当院での治療スケジュールが終了し、他院へ転院可能となった場合は、予定どおり転院となりますが、検出された旨は予めご連絡させていただきますほか、ご不明点やお困りのことがございましたらご相談下さい。
 - (3) 詳細につきましては、転院後に主治医/担当医より改めて患者さんへ説明させていただきます。

問い合わせ先：感染対策部
電話：075-251-5748